

6. 「データサイエンス・AI全学教育プログラム」について

1. プログラム概要

今日のデジタル情報化社会においては、数理・データサイエンス・AIの果たす役割が急速に大きくなっており、社会生活、産業、研究開発などあらゆる分野において基盤となり始めています。これに対し本学では、理工系総合大学である特徴を活かし、専門分野に依らず将来的にデータサイエンス・AIを駆使して問題解決ができる能力を身につけた人材を育成するため、リテラシーレベルからエキスパートレベルまでのデータサイエンス・AIに関する一貫した教育を行うことを目的とした全学教育プログラムである「データサイエンス・AI全学教育プログラム」（略称：DSAI全学教育プログラム）を2021年度から開始しています。

この教育プログラムには、学士課程向けの「リテラシーレベル」と「応用基礎レベル」、大学院課程向けの「エキスパートレベル」があり、学士課程向けの二つはそれぞれが文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(MDASH)」(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/00001.htm) で定められている「リテラシーレベル」と「応用基礎レベル」に相当します。

(1) データサイエンス・AI全学教育プログラム（リテラシーレベル）

数理・データサイエンス・AIの基礎的素養を習得し、それらを利活用できる基本的な能力を身につけることを目標とします。

(2) データサイエンス・AI全学教育プログラム（応用基礎レベル）

リテラシーレベルの素養を基に、よりレベルの高い発展的素養や実践スキルを習得し、エキスパートレベルの高度な素養の習得に繋がる能力を身につけることを目標とします。

2. プログラム詳細

2.1 プログラムの修了要件

下表に示す科目を履修しそれぞれの単位を取得することがプログラム修了要件となります。

データサイエンス・AI 全学教育プログラム修了に単位修得が必要な授業科目			
リテラシーレベル (4 科目 4 単位)		応用基礎レベル (3 科目 3 単位)	
情報リテラシ第一	[LAS. I111]	コンピュータサイエンス第二	[LAS. I122]
情報リテラシ第二	[LAS. I112]	応用基礎データサイエンス・AI 第一	[XC0. T281]
コンピュータサイエンス第一	[LAS. I121]	応用基礎データサイエンス・AI 第二	[XC0. T282]
基礎データサイエンス・AI	[LAS. I131]		

(注) 2022 年度以降の学士課程入学者に適用

2.2 プログラムの履修登録・修了認定

リテラシーレベル及び応用基礎レベルのいずれにおいても、修了認定を受けるためにはそれぞれのプログラムへの履修登録が必要となります。教務Webシステム上での当該科目の履修申告に加え、DSAI全学教育プログラムホームページ(<https://www.dsai.titech.ac.jp/program/>) からプログラム履修登録申請を行ってください。学士課程在籍中であれば、修了要件科目の履修前後のどちらでも履修登録が可能です。

修了認定は、原則として前・後学期末に履修登録者を対象として判定を行い、修了者には修了証を交付します。

データサイエンス・AI全学教育プログラムについて不明な点は、DSAI全学教育プログラムホームページ上の問合せフォームによりお問い合わせください。

URL: <https://www.dsai.titech.ac.jp/>